

PRESS RELEASE

2019年4月23日

「宮城県南三陸町 復活潮騒祭り」

埼玉大、復活潮騒祭りに産業ボランティアとして学生が参加

～ 復活潮騒祭りの準備、模擬店出店等で運営を支援 ～

埼玉工業大学

埼玉工業大学（本部：埼玉県深谷市、学長：内山俊一、URL: <https://www.sit.ac.jp/>、以下、「埼玉大」と略す）は、2019年5月3日（金・祝）～5日（日・祝）の3日間、宮城県南三陸町の寺浜にて開催される「復活潮騒祭り」において、8名の学生が産業支援ボランティアとして参加し、本イベントの運営に協力します。

合わせて、大学のキャンパスがある埼玉県深谷市を紹介しながら、南三陸の方々との交流により東北の復興支援活動にも取り組みます。

復活潮騒祭りは、東日本大震災以前の「南三陸潮騒まつり」を復活させようと、南三陸町と石巻市の有志が立ち上げた物産市で、今回で第6回目を迎えます。

目玉商品は、地元漁師が浜値で提供する南三陸産の海の幸です。開催期間中には、南三陸町・石巻市から12店舗が出店。またキッチンカーやフリーマーケットなども出店される予定です。

今回、埼玉大の学生は、産業支援ボランティアとして、次のような活動をおこないます。

1. 復活潮騒祭りの会場設営と運営のサポート（ステージでの司会等）
2. 復活潮騒祭りへの参加
3. 出合いのM3ゼミの出店（「煮ぼうとう」(注)の販売とバスソルト製作体験教室）



前回の活動写真：2018年8月31日からの3泊4日で実施した南三陸フィールドワークでの集合写真
(埼玉大の“出合いのM3ゼミ”所属学生15名と担当教員の松浦宏昭准教授)

今回の出店では、2024年度上期に発行予定の新一万円札の肖像としてデザインされる埼玉県深谷市出身の渋沢栄一翁が好物であったと言われる深谷市名産品の「煮ぼうとう」の物販と、バスソルト製作体験教室を開催します。

学生が主体となり、企画・準備、実施に取り組み、本学の地元・深谷市と南三陸の地域の橋渡しとなる活動を目指して複数のブースを出店します。学生独自の若くて柔軟なアイデアや企画を活かす活動において、南三陸の方々との協働で地域交流を行います。

これまでも、本学では学生主体の「出会いの M3 ゼミ」が、南三陸町の宿泊研修施設「南三陸まなびの里いりやど」を活動拠点に、南三陸でのフィールドワークを 3 回行ってきました。この経験を活かして、大学生の復興支援活動の一環として、今回の活動を実施します。

注) 煮ぼうとうについて

煮ぼうとうとは、比較的容易に小麦粉を手に入れることができた土地ならではの工夫と知恵がたっぷり入った、深谷の郷土料理です。

深谷市出身の明治の実業家・渋沢栄一翁も好んで食べたそうで、今でも栄一翁の命日には、煮ぼうとうの会が催され、煮ぼうとうを食べて遺徳をしのんでいます。

- ・近代日本経済の父 渋沢栄一翁を紹介する特設サイト

http://www.city.fukaya.saitama.jp/shibusawa_eiichi/

●宮城県南三陸町 復活潮騒祭り概要

- ・開催日時：2019年5月3日（金・祝）から5日（日・祝）の3日間
（本学ゼミの出店は、3日（金・祝）と4日（土・祝）の2日間限定）
- ・開催予定場所：南三陸町寺浜（神割崎駐車場）
- ・開催時間（予定）：9：00頃から15：00頃まで

●「出会いの M3 ゼミ」について

埼玉工大は、工学部生命環境化学科 松浦宏昭准教授が 2017 年 3 月に学生と共に設立した「出会いの M3 ゼミ（第 3 代 ゼミ長：工学部生命環境化学科 3 年 黒島大雅）」が中心になり、南三陸でのボランティア活動を行っています。2018 年 8 月に本ゼミの活動として 3 泊 4 日の南三陸フィールドワークを行い、その参加メンバーを中心に、今回初参加の学生も加わり、計 8 名が 5 月 2 日（木・祝）より 3 泊 4 日で南三陸に出向いて活動をします。

2018 年 8 月に本ゼミの活動において、「南三陸のファンになる」ことをテーマに、民泊や地元の豊かな農村の体験（南三陸農工房）、ふるさとの資源を活用したノベルティ製品の製作体験（南三陸復興ダコの会）を通して、南三陸の魅力を幅広く体験しました。

今回は、「南三陸のファン」になった学生達が、次は周りの人に南三陸を発信していくことを目的として、「受け継ぐ」や「色々な人に繋いでいく」ために、そしてその方法を考えていくという意味で「南三陸を継いで繋いでいく」ことをテーマにした活動を計画しています。

●M3 ゼミに関するお問い合わせ

埼玉工業大学 生命環境化学科 松浦 宏昭 准教授 TEL：048-585-6839（直通）

●本件の報道関係者からのお問い合わせ

埼玉工業大学 企画広報課 担当：神山宜也

〒369-0293 埼玉県深谷市普濟寺 1690 TEL 048-585-6805（直通）

E-mail: kamiyama@sit.ac.jp URL: <https://www.sit.ac.jp/>